

ユマニテク医療福祉大学校 令和3年度自己評価結果

令和4年2月2日

項目	評価ポイント	評価・課題
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の理念・目的・育成人材像は定められているか ●学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が生徒・関係業界・保護者等に周知されているか ●各学科の教育目標・人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか 	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>学校の理念・目的・育成人材像・特色については、HP、学生便覧、オープンキャンパス等で周知している。年2回教育課程編成委員会を開催し、外部委員から、業界のニーズに対応した授業内容・授業方法の改善について意見を収集している。</p> <p>課題： 医療福祉従事者を養成する機関として、特に、介護福祉士において若い人材が不足していることに対する問題意識を持つ必要がある。入学生が安定的に確保できるよう専門分野の特性を明確にし、職業教育の一層の特色を定める。</p> <p>改善策： カリキュラムマップを全学科で整備し、便覧等で周知する。実習巡回などで業界のニーズを適切に掴み、中長期計画として、各学科で卒業教育を含めたロードマップを作成する。</p>
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ●目的に沿った運営方針、運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか ●情報システム化等による業務の効率化が図られているか 	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>外部との会議等のオンライン開催は定着してきた。健康管理チェックシートにて、学生の健康管理を行っている。陽性者(濃厚接触者を含む)が出た場合は、校舎の消毒はもちろんのこと、直ちに帰宅させ、行動履歴を調査する対応を取っている。</p> <p>課題： オンライン対応の整備は行ったが、インフラ整備が未整備である。全校舎への検温器の導入が遅れた。</p> <p>改善策： ペーパーレス化による配布資料準備やオンライン授業の研究等が未整備である。感染対策として低オゾン発生装置等の導入を検討する。</p>
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ●教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ●職員の能力開発のための研修等が行われているか 	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>法令に基づく教育課程の編成を行っており、実践的な教育の視点から体系的な教育課程の編成、ディプロマポリシーに基づいた卒業認定を行っている。年2回教育課程編成委員会を開催し、関係施設や業界団体等と連携し、教育課程の作成・見直し、授業内容・方法の改善・工夫を行っている。必要に応じて、遠隔授業の対応を行っている。外部講師を招聘して、校内教職員研修を2回(「①私学人に必要な資質と考え方」、「②成人年齢引き下げ～若者が生き生きと活躍社会へ～」、「③身近な吃音を考える」)実施した。校外研修については、オンライン形式の研修会に参加している。作業療法学科は令和4年3月に3年制の完成年度を迎え、理学療法学</p>

		<p>科は令和4年4月から3年制がスタートする。理学療法学科では、他学科に倣い、特別試験を導入し、実施した。</p> <p>課題： 近年、多様な学生が入学しており、学生への個別の対応や支援、保護者への対応等に関する業務負担が著しく増加している。それらに関する対策を講じる必要がある。業界のニーズに対応した先端的な知識や技能を習得するためには、教育機材等の整備が必要である。</p> <p>改善策： 授業評価を全学科で行っていく。全ての学科において、カリキュラムマップの作成を行い、各科目の関係性を明確にしていく。また、関連分野との連携を図り、内容を強化する。歯科衛生学科は令和4年度中にカリキュラム改定案の詳細が決まるので、次年度に向けて対応する予定である。</p>
<p>(4)学修成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ●就職率の向上、退学率の低減が図られているか ●卒業後のキャリア形成への効果を学校の教育活動の改善に活用しているか 	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>昨年度の国家試験合格率は、理学療法学科 89.5% (86.4%)、作業療法学科 90.0% (88.8%)、歯科衛生学科 100% (93.0%)、介護福祉学科は 53.8% (留学生含む) (71.0%) であった (カッコ内は全国平均)。就職は、ほぼ 100% 関連分野にしている。卒業生等の中で県外希望者に関しては、仲介業者また県外養成校と連携し紹介等を行っている。退学率は減少傾向にある。特に歯科衛生学科と介護福祉学科は5年連続で5%以下である。成績不良者に対する個別指導や面談等を実施したり、保護者との連携を密にして学校と家庭の状況を情報共有したりするなど、学生へのサポートを充実させてきたことが退学率の減少に繋がっていると考えている。卒業後のキャリア形成にむけ、同窓会と連携して、公開講座やオンライン研修会を実施した。特に理学療法学科の卒後教育セミナーでは、作業療法学科卒業生など、多くが参加している。介護福祉学科では、県内他校と協力して、実習手引きを留学生にも対応したものに変更した。歯科衛生学科では9年連続国家試験合格を達成してきたが、今年度は難しいかもしれない。</p> <p>課題： 国家試験の合格率の向上、退学率の減少に向けた対策を講じる必要がある。能動的な学修効果を図る必要性がある。</p> <p>改善策： 低学年から国家試験にむけた対策を強化する。自学自習用のアプリ等も活用しながら、学習習慣の定着を図っていく。同窓会、地域歯科医師会、職能団体等とも連携して、卒業後のキャリア形成に向けたサポートを引き続き行っていく。卒業生に対するアンケートを行い、習得したカリキュラムが卒後に生かされているのかを判定</p>

		し、カリキュラムへフィードバックさせる。歯科衛生学科では、今後、歯科医療のデジタル化にも対応していきたい。
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ●進路・就職に関する支援体制は整備されているか ●高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか ●学生相談に関する支援体制は整備されているのか 	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>入学前教育を見直し、医療福祉分野に広い視野が持てるよう内容を検討した。月 2 回、臨床心理士によるスクールカウンセリングを実施しており、有効に活用されている。歯科衛生学科では、大型モニターを導入した。複数の仲介業者が存在し、歯科衛生士の就職斡旋を行っている。</p> <p>課題： 経済的な支援の必要な学生に対しては、奨学金、修学支援制度、学費の分納などのサポートを行っているが、コロナ禍でさらに経済的に厳しい学生への支援が必要である。</p> <p>改善策： 様々な修学支援の制度について、学生に周知し、必要な学生に届くよう事務部門と教育部門が協力して支援する。</p>
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ●施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ●学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか 	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>理学療法学科と作業療法学科では、令和 4 年度までに整備が完了する予定である。歯科衛生学科では、歯科医療教育を進める上で必要な教育備品の整備を進める。全校舎での空調設備の工事を完了した。実習施設については、必要に応じて登録申請を増やしていく予定である。災害時の備蓄品は学生に購入させている。大橋高校医療コースの整備を行った。</p> <p>課題： 経年劣化による外壁補修、全校舎での照明の LED 化等の更新などが必要になっている。</p> <p>改善策： 年 2 回の防災訓練(点検を含む)を行っていく。</p>
(7)学生の受け入れ・募集	<ul style="list-style-type: none"> ●学生募集活動は適正に行われているか ●高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか ●生徒募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか 	<p>評価：ほぼ適切</p> <p>学校案内パンフレット、学校 HP に加えて、SNS 等を活用した情報発信に積極的に取り組んだ。LINE を活用したオープンキャンパスの申込や情報発信は、利便性が高く効果があった。Twitter、Instagram に、募集担当者及び各学科から定期的に情報を発信した。受験生の要望に応え、9 月に入試対策講座を実施した。春の集客を増やすために、外部の協力を得て、12 月クリスマス企画オープンキャンパスを開催した。</p> <p>課題： オープンキャンパスへの参加が入学に繋がることから、オープンキャンパスの改善に取り組み、参加者を増やしていく必要がある。</p> <p>改善策： SNS は学科間で発信量に差があり、今後発信量を増や</p>

		<p>していく。入試内容や科目の見直しを図り、入試開催時期等の見直しを図り、全学科での入学生の確保を図る。学校パンフレット作製は、早期より準備する予定である。独自の給付型奨学金と施設奨学金を整備する予定である。今後、入学前教育に力点を置き、職業理解や意欲を向上させることで入学後に少しでも、スムーズな学習が始められることを目的として、医療福祉の教育内容に関心と認識を持たせるような取組みを行っていく。</p>
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ●財務について会計監査が適正に行われているか ●中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ●予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 	<p>評価: ほぼ適切</p> <p>法人として、理事会の承認、監査等は適正に行われている。高等教育の修学支援制度の対象校として認定されている。</p> <p>課題: 学生数は微増傾向ではあるものの、定員を充足していない。</p> <p>改善策: 高等教育の修学支援制度の対象校が継続できるようにする。修学支援制度の学生への周知を行い、対象となる学生の申請手続き等のサポートをする。</p>
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 	<p>評価: ほぼ適切</p> <p>個人情報の取扱いについては、個人情報の管理に係る取扱い規定を定め適切に運用している。</p> <p>課題: 教職員の意識啓発を図るために、研修を定期的に行う必要がある。</p> <p>改善策: 個人情報の管理の徹底を図るため、事務作業時の複数者でのダブルチェックを徹底する。年2回教職員研修を行い、職業倫理意識を高める。</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ●生徒・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか 	<p>評価: ほぼ適切</p> <p>学校主催としては、地域公開講座(歯科衛生学科)、また、地域からの要請に応じて教職員を講師として派遣している。学生へのボランティアの依頼については、掲示板等で周知している。理学療法学科では、地元スポーツ競技のサポート支援を行っている。学園内部の高校生に対して、ミニ研修会を開催している。</p> <p>課題: コロナ禍で、学生のボランティア活動は縮小している。</p> <p>改善策: 塩浜地区市民の方へ開催する研修会の講師を務める予定である。作業療法学科(健康チェック、体力測定)と介護福祉学科(ブース出展、子どもさんへのアトラクションの提供)では、コロナ後を見据えて、以前活動させていただいた塩浜文化祭への参加の取組を検討していきたい。</p>